

# 韓国の若者 S E に養成

## 大興グループ 日本に派遣



大興が東京本部で開いた韓国のS E向けの研修 (昨年12月)

機械設計や翻訳、人材派遣を手掛ける大興グループ(広島市中区)は、韓国でシステムエンジニア(S E)を養成し、日本国内のI T企業に派遣する事業を始めた。就職難といわれる韓国の若者を雇用し、人手不足に悩む日本企業を支援する。

持ち株会社の大興(中区)が昨年までに、ソウルの大学や専門学校4校と提携した。日本語を話せる韓国の20〜30代の若者を提携先の学校に受け入れ、インターネットやプログラミングの

基礎知識を半年間、学んでもらう。その後、契約社員

として採用し、大興の東京本部で1週間から1カ月間、日本のビジネスマナーなどを教える。昨秋、日本のI T企業に初めて派遣した。

年内に100人の韓国の若者を採用する計画。この派遣事業で年約7億円の売り上げを目指す。大興の田中正芳常務は「国内のI T業界は人材不足が続く一方、韓国では就職できない若者が多い。自前でS Eを育てる新事業にしたい」と説明する。中国や東南アジアでも、I T人材の養成を検討している。(桑島美帆)

中国新聞社の許諾を得ています

(掲載日 2017/2/17)